

# 麻酔科

## 【スタッフ】

平田孝夫、瀬戸口薫、福田稔、長畑佐和子

## 【概要】

令和 2 年 1 月より福田稔医師が当院に赴任しました。手術部スタッフと協力し「手術室で働く全ての人が、自信を持って、誇らしく働く環境、そしてお互いを尊重し、助け合いの精神」をモットーに手術室運営を行っています。

手術室のより一層の効率的な利用のため、麻酔科、外来、病棟スタッフが協力し、予定手術の約 90%を 17 時までに搬入し、19 時にはほぼ全ての手術症例を終了できるようになりました。

令和 2 年は全国的に新型コロナウイルス感染症が流行しました。初めての緊急事態宣言期間中には、緊急性、重症でない疾患に対する手術を延期・中止したことで、年間の麻酔管理症例数は昨年比に比べ 191 例減少し、1,851 例となりました。

院内の新型コロナウイルス感染症対策として気道確保・挿管・人工呼吸管理に伴うエアロゾル発生を考慮した挿管の手順書及び介助を示したマニュアルを作成し、講習会を開催しました。また、陽性、または疑い患者さまの緊急手術に対応するため手術室搬入から退室までの感染予防マニュアルを外科系医師・手術室スタッフとともに作成しました。麻酔科では術中の麻酔管理のみならず術前・術後を含む周術期医療の安全向上に努めています。

人員面では非常勤麻酔専門医の応援態勢を確立しています。

教育・指導面では、研修医 5 名の麻酔科研修及び指導を行い、九州歯科大学からの歯科麻酔研修の受入を行いました。また、救急救命士（長門消防所属 1 名）による気管挿管実習 30 症例を行いました。

「患者一人ひとりに安全で優しい、安心できる麻酔の提供」を心がけるといふ当科の目標のもと個々の症例に対し、麻酔方法、周術期管理について検討しています。

## 【活動内容】 麻酔科管理症例 令和 2 年 1 月～12 月

全身麻酔（吸入）	590 例
全身麻酔（TIVA：全静脈麻酔）	285 例
全身麻酔（吸入）＋硬・脊、伝麻	907 例
全身麻酔（TIVA：全静脈麻酔）＋硬・脊、伝麻	60 例
脊髄くも膜下麻酔	6 例
伝達麻酔	2 例
その他	1 例
計	1,851 例